

## ハロートレーニング（離職者向け）の令和3年度実績

### 1 離職者向けの公的職業訓練の分野別訓練規模

分野		総計					
		コース数	定員	受講者数	応募倍率	定員充足率	就職率
公共職業訓練（離職者向け） + 求職者支援訓練（実践コース）	IT分野	4	60	36	80.0%	60.0%	58.6%
	営業・販売・事務分野	49	695	548	109.2%	78.8%	61.8%
	医療事務分野	9	107	99	110.3%	92.5%	76.2%
	介護・医療・福祉分野	29	295	186	86.8%	63.1%	91.5%
	農業分野	2	13	10	123.1%	76.9%	100.0%
	旅行・観光分野	0	0	0	-	-	-
	デザイン分野	10	125	81	95.2%	64.8%	78.5%
	製造分野	32	349	274	116.3%	78.5%	89.1%
	建設関連分野	6	72	72	123.6%	100.0%	95.5%
	理容・美容関連分野	4	60	52	146.7%	86.7%	88.5%
	その他分野	6	55	46	138.2%	83.6%	66.7%
（基礎者支援訓練）	基礎	3	43	12	34.9%	27.9%	40.0%
合計		154	1,874	1,416	106.2%	75.6%	75.6%
（参考） デジタル分野		9	115	91	175.7%	79.1%	73.2%

（注）各項目の数値は、ハローワークシステムの速報値により集計。

### 用語の定義

※本資料における用語は、以下のとおり定義しています。

#### 「コース数」

公共職業訓練については、当該年度中に開講したコース及び当該年度以前から開始し当該年度に実施した訓練コースの数（当該年度以前に開講し、次年度に繰り越すコースを含む）。  
求職者支援訓練については当該年度中に開講したコースの数。

#### 「定員」

当該年度中に開講した訓練コースの定員の数。

#### 「受講者数」

当該年度中に開講したコースに入校した者の数。

#### 「応募倍率」

当該訓練の定員に対する受講を申し込んだ者の数の倍率。

#### 「定員充足率」

当該訓練の定員に対する受講者数の割合。

#### 「就職率」

訓練を修了等した者のうち就職した者の割合。分母については受講者数から中途退校者数（中途退校就職者数を除く）等を差し引き、分子については中途退校就職者を加えている。

ただし、公共職業訓練については、令和3年度末までに終了したコース、求職者支援訓練については、令和3年12月末までに終了したコースについて集計。

#### 「デジタル分野」

IT分野（ITエンジニア養成科など。情報ビジネス科を除く。）、デザイン分野（WEBデザイン系のコースに限る）等。

## 2 離職者向けの公的職業訓練の制度別、分野別訓練の実施状況

分野		公共職業訓練(都道府県:委託訓練)						求職者支援訓練						
		コース数	定員	受講者数	応募倍率	定員充足率	就職率	コース数	定員	受講者数	応募倍率	定員充足率	就職率	
公共職業訓練 + 求職者支援訓練 (離職者向け) (実践コース)	IT分野	1	15	13	166.7%	86.7%	50.0%	3	45	23	51.1%	51.1%	64.7%	
	営業・販売・事務分野	41	576	493	121.7%	85.6%	64.0%	8	119	55	48.7%	46.2%	39.5%	
	医療事務分野	9	107	99	110.3%	92.5%	76.2%	-	-	-	-	-	-	
	介護・医療・福祉分野	23	195	129	94.9%	66.2%	89.0%	4	60	31	70.0%	51.7%	94.4%	
	農業分野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	旅行・観光分野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	デザイン分野	2	15	15	273.3%	100.0%	50.0%	6	90	46	57.8%	51.1%	85.3%	
	製造分野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	建設関連分野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	理容・美容関連分野	-	-	-	-	-	-	4	60	52	146.7%	86.7%	88.5%	
	その他分野	1	5	3	80.0%	60.0%	66.7%	-	-	-	-	-	-	
(求職者支援訓練 基礎コース)	基礎	-	-	-	-	-	-	3	43	12	34.9%	27.9%	40.0%	
合計		77	913	752	117.6%	82.4%	69.0%	28	417	219	66.7%	52.5%	66.5%	
(参考) デジタル分野		3	30	28	220.0%	93.3%	50.0%	3	45	23	51.1%	51.1%	64.7%	

(注) 求職者支援訓練の就職率は令和3年12月末までに終了したコースについて集計。

分野	公共職業訓練(都道府県:施設内訓練)						公共職業訓練(高齢・障害・求職者雇用支援機構)					
	コース数	定員	受講者数	応募倍率	定員充足率	就職率	コース数	定員	受講者数	応募倍率	定員充足率	就職率
IT分野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営業・販売・事務分野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
医療事務分野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護・医療・福祉分野	2	40	26	72.5%	65.0%	100.0%	-	-	-	-	-	-
農業分野	2	13	10	123.1%	76.9%	100.0%	-	-	-	-	-	-
旅行・観光分野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
デザイン分野	2	20	20	130.0%	100.0%	88.2%	-	-	-	-	-	-
製造分野	4	35	19	82.9%	54.3%	89.5%	28	314	255	120.1%	81.2%	89.0%
建設関連分野	-	-	-	-	-	-	6	72	72	123.6%	100.0%	95.5%
理容・美容関連分野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他分野	-	-	-	-	-	-	5	50	43	144.0%	86.0%	-
合計	10	108	75	92.6%	69.4%	94.2%	39	436	370	123.4%	84.9%	90.4%
(参考) デジタル分野	-	-	-	-	-	-	3	40	40	282.5%	100.0%	92.3%

(注)公共職業訓練(高齢・障害・求職者雇用支援機構)のその他分野は橋渡し訓練のため就職率は該当分野欄に集計。

# 岡山県におけるハロートレーニングの実施状況

## 1 県立高等技術専門校での施設内訓練

### (1) 学卒者訓練（18歳以上かつ原則として高卒以上）

◆ 環境設備工学科、電気設備科、自動車整備工学科など7科、定員160人、1～3年間

・ 入校状況：令和3年度 47.5%、令和4年度 47.5%

・ 就職状況：令和3年度 95.9%

### (2) 離職者訓練・障害者訓練

◆ 塗装科、造園・エクステリア科、ケアサービス科など7科、定員140人、6か月又は1年間

・ 入校状況：令和3年度 70.0%、令和4年度 75.5%

・ 就職状況：令和3年度 95.9%

### (3) 在職者訓練

◆ 配管工事、電気工事、塗装、溶接、自動車整備など、2～3日間

・ 実施状況：令和4年度 22コース410人、令和5年度(計画) 21コース390人

## 2 離職者等に対する民間教育訓練機関等を活用した委託訓練

◆ 介護福祉士、保育士、栄養士、調理師の養成（以上1～2年間）、  
パソコンワーク、医療事務（以上2～6か月間）など。4年度当初計画定員 973人。

・ 入校状況：令和2年度 58コース743人、令和3年度 58コース730人

行頭が◆の項目は、令和4年度の状況。

令和4年度第1回 岡山県地域職業能力開発促進協議会

# 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 ハロートレーニング（公的職業訓練）等の実施状況について

- 離職者訓練
- 求職者支援訓練
- 事業主支援  
（在職者訓練、生産性向上支援訓練、等）



**独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構**

Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers (JEED)

**岡山支部岡山職業能力開発促進センター**

1. 離職者訓練（施設内訓練）について	3
(1) 実績・計画等	
(2) 取組状況	
2. 求職者支援訓練について	9
(1) 認定状況	
(2) 取組状況	
3. 事業主支援について	11
(1) 事業主支援（生産性向上人材育成支援センターの役割）	
(2) 実績等	

# 令和3年度離職者訓練の実績

区分/科名	年間定員	実施状況				
		応募率 ※2	入所者 ※3	充足率	就職率 ※4	うち 正社員
離職者訓練計	436	1.20	370 (106)	84.9%	90.4%	70.2%
標準コース計	344	1.17	293 (96)	85.2%	89.8%	70.1%
CAD・NC機械科	60	1.20	59 (10)	98.3%	83.0%	70.5%
CAD・ものづくりサポート科 (女性対象)	40	1.05	33 (33)	82.5%	81.1%	60.0%
溶接技術科	60	0.55	27 (1)	45.0%	96.0%	91.7%
電気・通信施工技術科	72	1.06	62 (4)	86.1%	90.5%	80.7%
ICTシステムサポート科	40	2.25	40 (12)	100.0%	92.3%	69.4%
住宅リフォーム技術科	72	1.24	72 (36)	100.0%	95.5%	57.1%
企業実習付コース計	42	0.95	34 (3)	81.0%	93.1%	71.4%
金属加工技術科	12	0.33	4 (1)	33.3%	100.0%	50.0%
電気設備技術科	30	1.24	30 (2)	100.0%	95.7%	77.3%
導入訓練(3コース・橋渡し訓練)計	50	1.38	43 (7)	86.0%	-	-

※1 正社員就職率は、((就業形態が「常用」であって勤め先で「正社員」「正職員」などと呼称される者[人])/(就職者数[人]+中退就職者数[人]))で算出

※2 応募率のうち、ICTシステムサポート科、金属加工技術科及び電気設備技術科については、導入訓練から引き続き訓練受講者の人数を含めていること。

※3 入所者の実績は令和4年3月末確定値、( )は女性入所者数

※4 就職率は令和4年3月末までに修了したコース

# 令和4年度離職者訓練計画

区分/科名	入所月	計画
離職者訓練		436
標準コース(6カ月コース)計		344
CAD・NC機械科	4,8,11,2	60
CAD・ものづくりサポート科 <small>(女性対象)</small>	6,1	40
溶接技術科	4,8,11,2	60
ICTシステムサポート科	5,12	40
電気・通信施工技術科	4,8,11,2	72
住宅リフォーム技術科	5,9,12,3	72
企業実習付きコース(6カ月コース)計		42
金属加工技術科	1	12
電気設備技術科	4,10	30
ビジネススキル講習(橋渡し訓練)	5,9,12,3	50

※ 離職者訓練計は、それぞれの訓練計画数の合計であるが、「ビジネススキル講習(橋渡し訓練)」は「ICTシステムサポート科」及び「企業実習付コース」と組み合わせて実施していること。



# 令和4年度離職者訓練実施状況

区分/科名	年間定員	実施状況				
		7月までの定員	応募者数	入所者 ※2	充足率	就職率 ※3
離職者訓練計	436	179	284	134 (35)	74.8%	85.5%
標準コース計	344	154	135	110 (33)	71.4%	86.0%
CAD・NC機械科	60	30	22	19 (5)	63.3%	89.7%
CAD・ものづくりサポート科 (女性対象)	40	20	18	17 (17)	85.0%	92.3%
溶接技術科	60	30	12	12 (1)	40.0%	87.5%
電気・通信施工技術科	72	36	28	26 (0)	72.2%	80.8%
ICTシステムサポート科	40	20	39	20 (4)	100.0%	80.0%
住宅リフォーム技術科	72	18	16	16 (6)	88.9%	88.9%
企業実習付コース計	42	15	14	13 (0)	86.7%	66.7%
金属加工技術科	12	0	-	-	-	66.7%
電気設備技術科	30	15	14	13 (0)	86.7%	-
導入訓練(3コース)計	50	10	28	11 (2)	110.0%	-

※1 正社員就職率は、((就業形態が「常用」であって勤め先で「正社員」「正職員」などと呼称される者[人]) / (就職者数[人] + 中退就職者数[人]))で算出

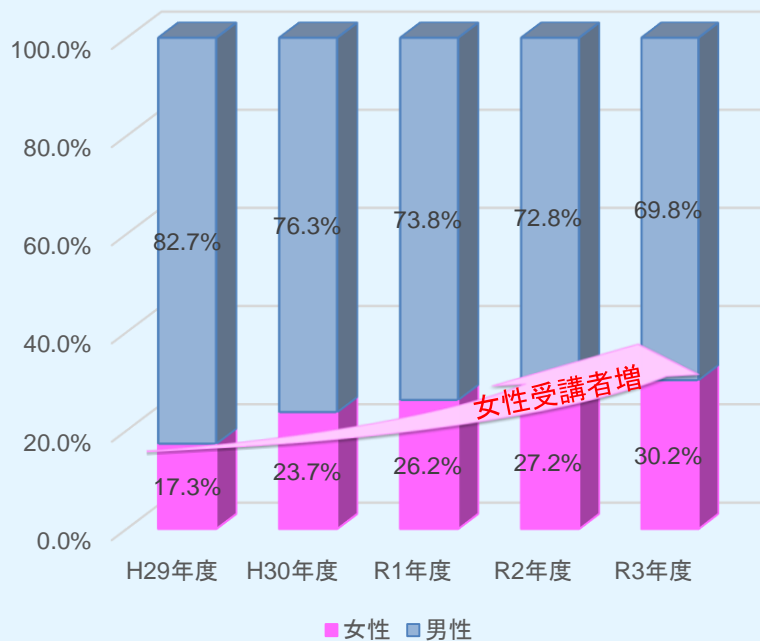
※2 入所者の実績は令和4年8月2日時点、( )は女性入所者数

※3 就職率は令和4年7月までに修了したコースの速報値(確定値は訓練終了3か月後の数値となること)

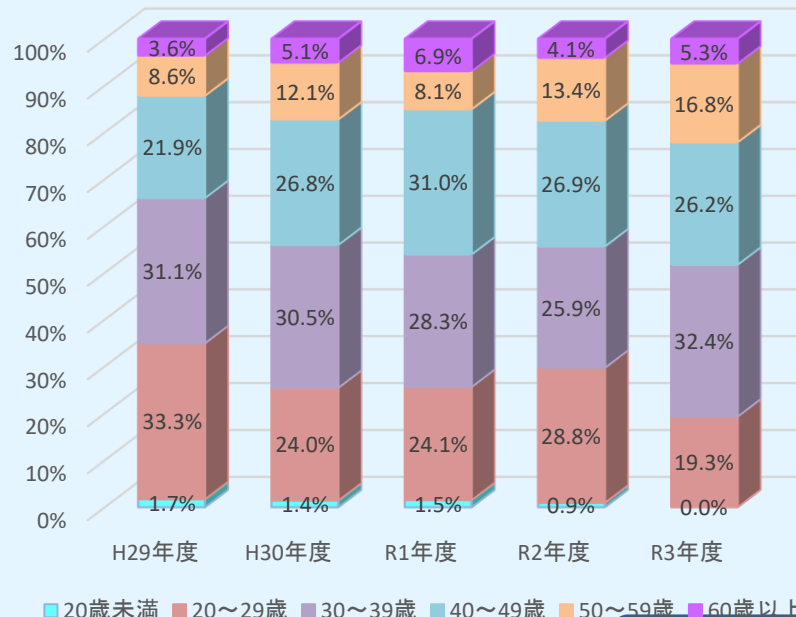
# 参考 離職者訓練受講者の男女割合／年齢割合

※導入訓練の受講者数を含む。

## 受講者男女割合



## 受講者年齢割合



令和2年度は50歳代が  
過去平均から5%増加



## 受講者の声



機械系

以前は会計事務所で一般事務の仕事をしていました。大学時代の友人にポリテクセンターのことを聞き、女子だけのクラスだったので、楽しそうだと感じて応募しました。訓練の内容は、機械製図、2次元CADなどが直接役に立っています。また、直接機械を触ることはありませんが、機械加工の知識も役立っています。

コース名:CAD・ものづくりサポート科

以前は契約社員として働いていました。今まで経験のなかった情報関係での就職を考えて、ポリテクセンター岡山のICTシステムサポート科に応募しました。失業中かつコロナ禍で訓練を受講したことにより生活リズムが整えられるとともに、やさしく教えてもらったのは良かった。

コース名:ICTシステムサポート科



電気・電子系

前職はデザインの仕事をしていました。就職活動を進める中で専門的なスキルを増やしたいと考え、住宅リフォーム技術科の訓練を受けようと思いました。専門的なことをゼロから学べ、質問すると丁寧に答えてくれる環境は良かったです。現在は家屋に必要な電気工事部材の仕事でCADや積算の訓練が活きています。

コース名:住宅リフォーム技術科



居住系

## 採用企業の声



機械系

訓練で専門的な勉強をされて、ある程度の知識を持った方ということで採用させていただいています。図面の知識、CAD/CAMであったりMCの操作などのベースがあるので、業務の習熟が早いと思います。ポリテクセンターでマシニングセンターや旋盤などの使い方など基本的なところはしっかりと学んで習得してもらいたいです。

コース名:CAD・ものづくりサポート科

仕事に対する姿勢が前向きであり、まじめに業務に取り組んでいる。一般採用と比較するとアドバンテージはあるが、知識を活用する場目には実地において学ぶことの方が圧倒的に多いのではないかと思う。ある程度の知識を持っていることでOJTを省けたりすることがあるので、その点は良い。挨拶ができて、細かな気遣いができる方であればなお良いので採用したい。

コース名:電気・通信施工技術科



電気・電子系



居住系

CAD設計業務について、熱心に取り組んでもらっている。水門、橋梁についても学んでもらうために資料を渡して勉強してもらっている。すでにJW-CADについては技術を要しているの、一般採用者と比べて優れていると思う。今後もJW-CADができて、電機分野の知識があり、やる気や人当たりが良い方がいれば是非採用したい。

コース名:住宅リフォーム技術科

## 参考 受講者募集の取組

①施設案内の充実・見学説明会の実施  
新規に案内動画の作成を行いHP上、センターエントランスでの放映等を実施。  
毎月2回の見学説明会を実施。



ポリテク岡山エントランス

②訓練制作物の展示  
ハローワーク岡山等において、訓練の加工例等を展示。また、訓練案内用動画を再生して募集案内を実施。



ハローワーク岡山の展示

③イベントの実施  
「ものづくり女子ホンネトーク」、「マッチングカフェ」などの就職支援の一環として、中小企業団体中央会のご協力を得て実施。



ものづくり女子ホンネトーク

④ラジオ放送  
岡山シティエフエム（Radio MOMO）の番組を活用し、岡山県下の施設と実施日を調整して、月2回のラジオによる広報を実施。

⑤ハロトレくんの活用  
「ハロトレくん」のステッカー（公用車に貼り付け）、のぼり、クリアファイル等を作成し、周知広報に活用中。

# 求職者支援訓練の認定状況

コース・分野	令和4年度(※)			令和3年度		
	認定 上限値	認 定		認定 上限値	認 定	
		コース数	定員数		コース数	定員数
基礎コース	150人	1	15人	143人	6	84人
実践コース	410人	12	185人	345人	30	449人
介護系		2	30人		4	60人
医療事務系		1	15人		1	15人
情報系		3	50人		3	45人
その他		6	90人		22	329人
(うち、短期・短時間特例訓練)		(4)	(60人)		(20)	(300人)
合 計	560人	13	200人	488人	36	533人
		認定率	35.7%		認定率	109.2%

(※) 令和4年度は7月末迄の認定数であること。

## 1. 実施状況確認の実施

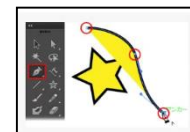
訓練実施施設へ月1回の定期的な訪問により、適正な訓練実施の確認及び訓練運営に係る相談援助を行っている。なお、開講中の全ての訓練課に対して、少なくとも1回は事前連絡なしで訪問を行うこととしている。

	令和4年4月～7月末まで	令和3年度
実施回数 (うち事前連絡なし)	33回 (10回)	85回 (29回)

## 2. 求職者支援訓練サポート講習の開催

機構が有する職業訓練ノウハウを活用し、求職者支援訓練の質を向上させることを目的として年1回開催している。

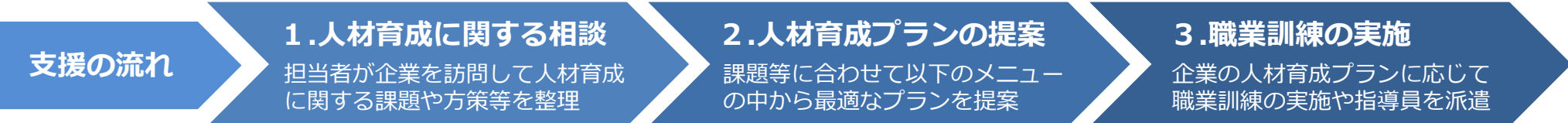
	令和4年度	令和3年度
講習名	受講者募集の勘所とポイント (プロモーション編)	受講者対応スキルの向上について
開催日時	令和4年10月21日(金) 14:00～16:00	令和3年11月18日(木) 14:00～16:00
受講者数	13名(予定)	3名



# 事業主支援（生産性向上人材育成支援センターの役割）

人手不足の深刻化や技術革新の進展の中で、中小企業等が事業展開を図るためには、従業員を育成するとともに、企業が生み出す付加価値（労働生産性）を高めていくことが必要となっています。

当機構では、全国87か所のポリテクセンター等に「生産性向上人材育成支援センター」を設置し、企業の人材育成に関する相談支援から、課題に合わせた「人材育成プラン」の提案、職業訓練の実施まで、中小企業等の人材育成に必要な支援を一貫して行っています。



## 高度な技能・技術の習得を支援（在職者訓練）

「技能・技術などの向上」や「新たな製品づくり」といった企業の生産現場が抱える課題解決のために、“ものづくり分野”を中心に、設計・開発、加工・組立、工事・施工、設備保全などの実習を中心とした高度な訓練コースを体系的に実施しています。

- 訓練日数  
概ね2～5日（12～30時間）
- 受講料（1人あたり平均）  
13,000円程度
- 主な訓練分野
  - 【機械系】  
・機械設計 ・機械加工 ・溶接加工
  - 【電気・電子系】  
・電子回路設計 ・電気設備保全
  - ・IoT技術の活用
  - 【居住系】  
・建築設計 ・建築製図
  - ・施工管理



## 生産性向上に必要な知識等の習得を支援（生産性向上支援訓練）

中小企業等の生産性向上に必要な知識等を習得するために、あらゆる産業分野で必要とされる“生産管理、IoT、クラウドの活用”などのカリキュラムを、利用企業の課題に合わせてカスタマイズし、専門的な知見やノウハウを有する民間機関等を活用して実施しています。

- 訓練日数  
概ね1～5日（4～30時間）
- 受講料（1人あたり・税込）  
2,200円～6,600円
- 主な訓練分野
  - 【生産・業務プロセスの改善】  
・生産現場の問題解決 ・実践RPA活用
  - 【横断的課題】  
・組織力強化 ・後輩指導力の強化
  - 【売上げ増加】  
・マーケティング
  - 【IT業務改善】  
・表計算ソフト ・HP作成



## 職業訓練指導員の派遣 施設・設備の貸出

「研修したいが講師がいない」「研修したいが機械を止められない」「研修場所がない」といった企業の要望に応じて、機構の職業訓練指導員（テクノインストラクター）を企業に派遣することや、ポリテクセンター等の機構施設・設備（会議室、実習場及び訓練用設備・機器）の貸出しを行っています。



# 生産性向上人材育成支援センターの実績

## 1. 在職者訓練実施状況

(令和4年7月末日時点、予定含む)

	目標	実施コース	受講者数	達成率
令和4年度	710人	83コース 中止4コース 追加16コース	247人 (申込547人)	34.8% (77.0%)
令和3年度	720人	80コース 中止18コース 追加13コース	726人	100.8%

## 2. 生産性向上支援訓練

(令和4年7月末日時点、予定含む)

令和4年度目標	コース	受講者数	受講者満足度	事業主満足度
740人 (内、DX対応コース 120人) (内、ミドルシニアコース 50人)	122コース (内、DX対応コース 14コース) (内、ミドルシニアコース 111コース)	945人 (内、DX対応コース 154人) (内、ミドルシニアコース 37人)	98.4%	100%
令和3年度目標	コース	受講者数	受講者満足度	事業主満足度
680人 (内、ミドルシニアコース 50人)	129コース (内、ミドルシニアコース 91コース)	1,680人 (内、ミドルシニアコース 77人)	97.7%	91.0%



## 3. 指導員派遣と施設設備貸与

(令和4年7月末日時点、予定含む)

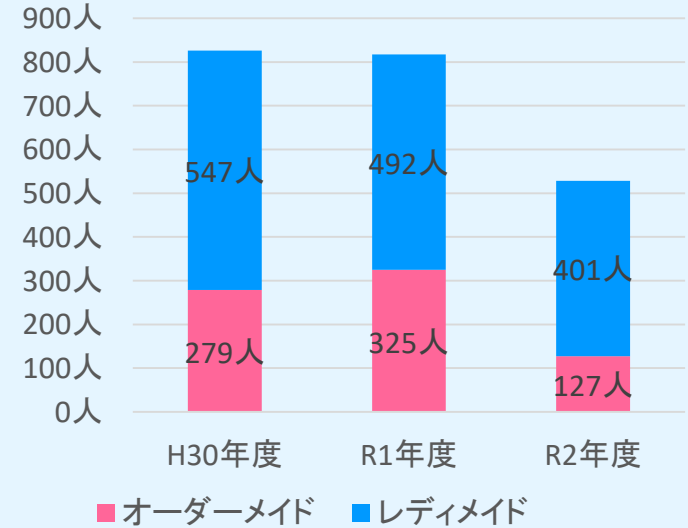
項目	令和4年度実績・予定	令和3年度実績
指導員派遣延べ人員	12人	39人
訓練延べ人員	1,449人	3,016人

# 参考 在職者訓練の推移

## 在職者訓練受講者数 (H30~R2年度)

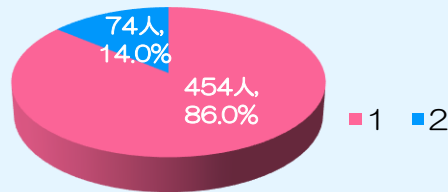
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
受講者数	826人	817人	528人
(内訳)			
機械系	540人	484人	321人
電気・電子系	274人	317人	207人
居住系	12人	16人	0人
コース数	88コース	90コース	90コース

## レディメイド・オーダーメイド割合 (H30~R2年度)

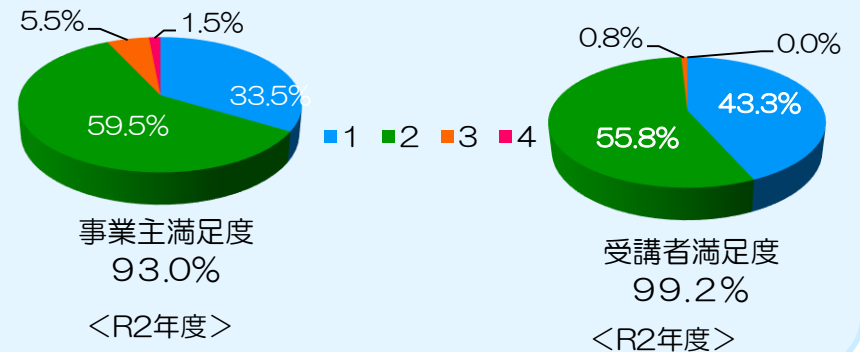


訓練風景

## 利用企業の規模別受講者数 (R2)



## 事業主満足度、受講者満足度の実績





お問い合わせ先

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
岡山支部 岡山職業能力開発促進センター  
電話 086-241-0067 (代表)

# 指標から分析した改善すべき方向性

就職率 高

## 【就職率「高」・応募倍率「低」の分野の改善方策】

求人ニーズの観点からは効果的な訓練と言えるが、受講者ニーズをとらえ切れていない可能性がある。

### <考えられる改善の方向性>

- 訓練コースが、求職者にとって応募や受講がしやすい募集日程・訓練日程となっているか要検討。
- 受講勧奨の段階で、訓練コースの内容や効果に関する周知の強化について要検討。

応募倍率  
低

## 【就職率「高」・応募倍率「高」の分野の改善方策】

求人ニーズ、求職者ニーズを踏まえた効果的な職業訓練と言える。

### <考えられる改善の方向性>

- 応募倍率が100%を超えている場合には、申込者数に応じた定員の拡充について要検討。

応募倍率  
高

## 【就職率「低」・応募倍率「低」の分野の改善方策】

求人ニーズ、受講者ニーズ双方をとらえ切れていない可能性がある。

### <考えられる改善の方向性>

- 求人ニーズ、受講者ニーズに即した訓練内容になっているか要検討。
- 就職支援策に課題がないか、強化する必要があるか要検討
- 訓練コースの周知や受講勧奨に課題がないか要検討。
- 以上を講じても改善されないときは訓練コースの縮小を要検討。

## 【応募倍率「高」・就職率「低」の分野の改善方策】

求人ニーズをとらえ切れていない可能性があるとともに、受講者に就職率が低いことが伝わっていない可能性がある。

### <考えられる改善の方向性>

- 求人ニーズに即した訓練内容になっているか要検討。
- 就職支援策に課題がないか、強化する必要があるか要検討
- 受講勧奨時に、受講者に必要な情報が伝わっているか、要検討。

就職率 低